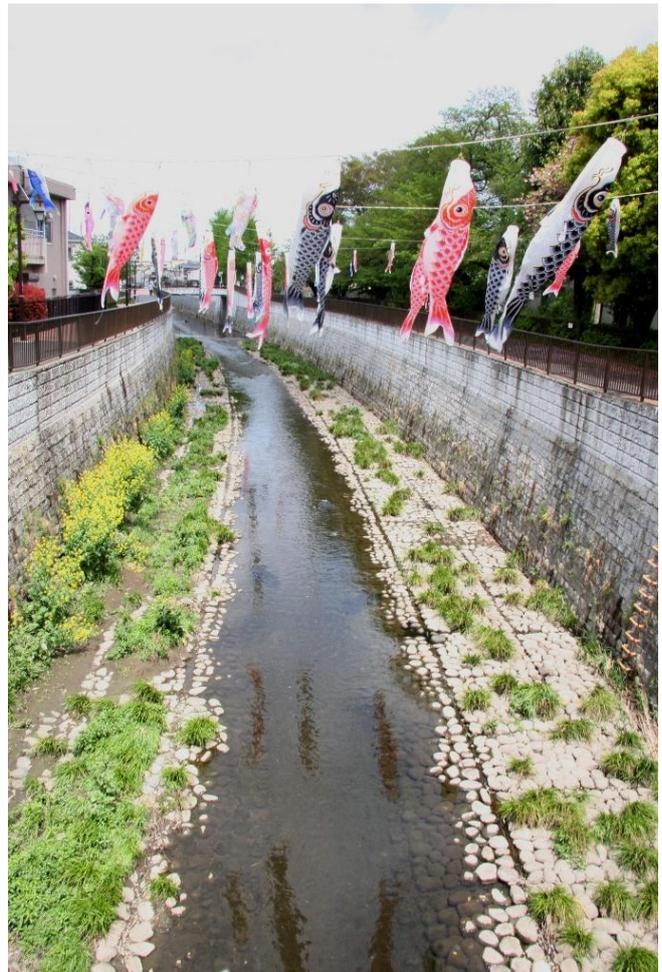


空にも川面にも「こいのぼり」

子どもの日を前に、22日から始まった「善福寺川鯉のぼりの川渡し」は、地元の町会が毎年開催しているもので、地域の子どもたちの健やかな成長を願うもので、大小60あまりが大空にも川面にも泳いでいます。

こいのぼりは、都会では目にする機会が少なくなりました。しかし、子どもたちの健やかな成長を願う気持ちは、今も昔もかわりません。「善福寺川鯉のぼりの川渡し」(堀ノ内1-19付近)は、この地域の堀ノ内一・二丁目町会が平成11年から実施しているものです。町会では、各家庭では上げることの少なくなったこいのぼりが大空を泳ぐ景色を後世に引き継ぐとともに、地域の子どもを地域のみんなで育てて行くことを目指しています。

今年も例年同様、善福寺川の兩岸に6本のロープを渡し、それぞれ10あまりのこいのぼりを結んでいます。全部で60あまりのこいのぼりが川の風に吹かれて泳いでいます。これらのこいのぼりは、町会の住民の家に眠っていたものを活用して始めましたが、年月が経過する中で、こいのぼりは色あせたり破れたりしたため、少しずつ買い足すなどしてきました。また、最近では遠方の方から、子どもが大きくなりダンスや物置の中で眠っているこいのぼりを再び大空に泳がせてほしいと寄付されたものも含まれています。



24日、現地を訪れると近所の人たちが散策をしながら、風に吹かれるこいのぼりを見上げていました。また、春のうららかな日差しを浴びたこいのぼりは、川面に陰を落とし悠々と善福寺川を泳いでいるようにも見え、二通りの楽しみ方ができます。

会場は、地下鉄丸ノ内線方南町駅から徒歩8分です。善福寺川の熊野橋や紅葉橋からの眺めが最高で、5月5日まで見ることができます。

[問い合わせ先]

総務部広報課： TEL 03-3312-2111